

組合支援ウォッチ

福岡花商協同組合が連携事業継続力強化計画の策定・認定を目指す!!

近年、福岡県は毎年のように大雨などによる災害が頻発しています。直近では本年7月10日にも広く県内に豪雨による避難指示が出るなど、住民生活並びに事業者の営業活動に緊張が走りました。

このような中、生花の小売店などで組織する福岡花商協同組合では青年部を中心に連携事業継続力強化計画の策定・認定を目指す取組を開始しました。本取組では中小企業基盤整備機構と本会が連携して、組合を中心とした「共助」による防災や被災後の初動対応などの計画策定を支援しています。



事前説明会の様子

今回の支援事業では専門家(中小企業診断士)による全3回の策定支援を実施し、計画の策定とその認定を目指します。7月5日(水)には組合員への制度理解と意識醸成のため、認定制度の事前説明会が開催され、約20名の組合員が参加しました。



事前説明会で説明する 藺田恭久 中小企業診断士

また、7月12日(水)には第1回の策定支援も実施され、計画策定の目的や事業運営にどのようなリスクがあるかの確認を行いました。これから、青年部を中心に組合一丸となって計画策定に取り組まれることを期待しております。

本事業や計画策定にご興味のある方は、福岡県中小企業団体中央会までお気軽にお問い合わせください。

事業継続力強化計画とは…

事業継続力強化計画とは防災・減災の事前対策に関する計画を経済産業大臣が「事業継続力強化計画」として認定する制度です。認定を受けた中小企業は、税制措置や金融支援、補助金加点などの支援策が受けられます。

事業継続力強化計画について、NEWSふくおか6月号の「特集」に藺田中小企業診断士の記事がありますので、ご参照ください。



認定を受けた場合、このロゴが使用できます